

建設業で活躍する若い力をご紹介します！

建設産業は、日々の暮らしや地域の産業を支え、時には災害から人々を守るために活動する地域に欠かすことのできない重要な産業です。

人々の暮らしをより豊かにするために建設業で日々がんばって働いている方たちにインタビューしました！

現場監督・土木施工管理技士

(かとう せいや) **加藤 聖也** さん (一若建設株)



これまでの略歴を教えてください！

西予市の出身で、県内の普通科高校を卒業後、九州の大学に進学し、土木系の学科を専攻しました。

大学を卒業後、**地元で就職したい**と思い、市役所の技術職員として勤務していましたが、**建設現場を自分の手で動かしてみたい**などという気持ちが芽生え、今年の4月から宇和島市にある現在の会社に転職しました。

どうして、大学で土木系の勉強をしようと思ったんですか？



大学で土木系の学科に進んだきっかけは、元々は建築系の勉強をしたくて進学しましたが、勉強していくうちに、土木の方が、地域みんなが使う生活には絶対に欠かせない道路や港湾などのインフラを整備しており、**建築よりも住民の生活に直結した土木の仕事に就きたい**と思い、土木系の学科を専攻しました。

現在の仕事内容を教えてください！



橋の付け替えに伴う**橋脚工事**に携わっており、**現場監督・現場代理人**として、現場で作業する人たちへの指示や、安全に仕事ができるよう現場での巡回等による危機管理、1日の工程(スケジュール)管理、測量や写真撮影、書類作成等を実施しています。

まだ、入社1年目で分からないことも多いですが、**先輩の技術者にも教わりながら、一緒に仕事を進めています。**

ちなみに、建設現場には簡易事務所があって、インターネットも通じているので、**パソコンでの事務作業やメールチェックも現場でできるんです！**



現場ではどれくらいの人働いているんですか？



実際に工事を施工する作業員の方や職人の方々、交通誘導員の方も含めると、多い時で15人程度の人たちが働いています。

私は現場監督として、今日一日でこの作業をやるということを決めて、作業員さんや職人さんにそのことを指示したり、施工現場は危険な箇所が多いので、巡回するなどして、安全には十分気を付けるよう注意・指導したりしています。

仕事のやりがいは何ですか？

まだ入社1年目なので、仕事をすればするほど、日々、知識が蓄積されていくところです。

実際に工事が進んでいくうちに、設計図面にあるものが形になっていく過程で、図面では分からなかったことが、「こういう風にできるのか」とか、「こういう風に施工するのか」とか、平面だけでは分からなかったことが、実際に目で見て触れることで、知識として蓄積されていくのがやりがいであり、楽しいところです。

建設業の仕事の誇れるところはどんなところですか？



誇れるところとしては、ないものができる(ゼロから一を造る)ことが一番だと思います。

設計図面にあるものが着々と出来上がっていく様子や、完成形をイメージすると心が躍り、ワクワクします！「実際に橋ができたら、どんな人が使ってくれるのか」ということを想像すると、ワクワクしてやっぱり面白い仕事だなと思います。

仕事をするうえで、大事なこと・心がけていることは何ですか？



今日の自分より、明日の自分のほうが一つでも成長している、何か一つでもいいので、成長できることが多くなるよう心掛けています。日々成長して行って、一人前の技術者に早くなりたいなと思います。

どのように仕事を覚えていますか？

分からないことは先輩に聞ききながらだったり、現場は常に作業が進んで動いているので、実際に足を動かして、見て覚えて、言われたことはメモを取ることです。これらは社会人共通のことになりますが、日々、今日の自分より明日の自分が成長できるように心掛けています。

現在の会社の自慢できるところはどんなところですか？

社員さん一人一人が本当に**やさしい方が多い**ところです。きつい口調で色々言われるのかなと思っていましたが、**質問したら優しく一から教えてくれて**、ほかの会社の方たちにも、穏やかで丁寧な対応をされています。

現在の目標はなんですか？

現在、**国家資格である2級土木施工管理技士**という資格を持っていますが、工事現場を統括し、全体のスケジュール管理や現場の安全、品質管理、働く人たちの技術上の指導・監督などを行う**一人前の技術者・土木施工管理技士**として、**現場を自分一人の力で監督として動かしてみたい**です。

そのために**日々勉強**して、将来的には**1級の土木施工管理技士**の試験を受けたいと思います。

将来やってみたい仕事はなんですか？



土木といってもいろいろな工事がありますが、私は**土木構造物の中でも橋が好き**なので、今後も橋脚工事に携わっていきたいと思います。

また、異常気象が続く中で、これからも大規模な災害が起きると思うので、**災害復旧工事にも携わっていきたい**なと思います。

休みの日はどんなことをしていますか？

現在の会社は、週休2日で基本的に土日が休みとなっています。建設業は現場に出る機会が多いので、まず体力をつける必要があると思い、**ジョギング**をしています。

加藤さんの**まじめポイント**を教えてください！



まじめ課長(まじめみきゃん)

言われたことはメモを取ることや、わからないことがあれば、きちんと質問し、必ず**最後までやり遂げる**ところです！

最後に皆さんメッセージをお願いします！



建設業は楽な仕事とは決して言えません。ただ、図面にあるものがどンドン形になって出来上がっていく様子を見てると、本当に**ワクワク**して、完成形を想像し、住民の方が使っている姿を想像すると心が躍ります。

苦勞した分だけ得るものも多く、やりがいを感じられるので、ぜひ、皆さんに建設業界に入っていただいて、建設業界で**一緒に働きたい**なと思います。

建設業で活躍する若い力をご紹介します！

建設産業は、日々の暮らしや地域の産業を支え、時には災害から人々を守るために活動する地域に欠かすことのできない重要な産業です。

人々の暮らしをより豊かにするために建設業で日々がんばって働いている方たちにインタビューしました！

現場監督助手

(たかしな かえで) **高科 楓** さん [(株)白石工務店]



これまでの略歴を教えてください！

新居浜市の出身で、県内の普通科高校を卒業後、**建築関係の仕事に興味があり**、新居浜市にある現在の会社に就職しました。就職して、今年で5年目の年になります。

建設業に入職したきっかけを教えてください！

親戚に建設業で働いている人がいたことも関係あるかもしれませんが、入職する以前から無意識のうちに**建物の新築工事**が目について、好きになっていました。建築関係の仕事に興味があるので、就職先を考えているときに、入職してみてもいいかなと思いました。

現在の仕事内容を教えてください！

現場監督の助手(補佐)として、現場で働く人たちへの指示出しや、注意喚起などの安全管理や進捗管理などを行っています。また、建物を造る際の現場作業や測量、書類作成なども行っています。



仕事のやりがいなんですか？

入社当時にはできなかったことが、様々な経験をしたことでできるようになったことです。

当時は分からなかったことが一人でも分かるようになり、スムーズに仕事が進められるようになりました。

思い出に残っている仕事はなんですか？



新居浜商業高校の新築工事が思い出に残っています。

工事の初めから現場監督の補佐として携わり、規模の大きな工事で、他の会社と共同して施工するという初めての経験でもあり、楽しかったです。

今の会社のいいところ、自慢できるところはなんですか？



先輩の皆さんが優しく、現場でも楽しく和気あいあいと作業ができるところです。



入職する前の建設業のイメージとギャップはありましたか？

入職する前は「怖いかな」と思っていたのですが、人見知りの私にも優しく話しかけてくれたり、一緒に仕事をする他の会社の方たちとコミュニケーションを取ったり、やりがいも多く今は本当に楽しい仕事だと思います。

どのように仕事を覚えていきますか？

先輩の職員の仕事ぶりを見ることや、分からないことは話を聞きながら仕事を覚えました。

現在の目標や夢はなんですか？

2級建築施工管理技士という国家資格を取得して、一人で現場の施工管理などの仕事を任せられるようになりたいです。
また、おしゃれな雑貨屋の新築工事に携わったこともあり、私もカフェや美容室など、お店のデザインから依頼主の方と一緒に考えて、世界に一つだけの建物を造ってみたいと思います。

高科さんのまじめポイントを教えてください！



まじめ課長(まじめみきゃん)

現場での作業をしているときには、通行人の方にも気を配り、絶対に事故が起こらないように安全管理に気を付けています。

最後に皆さんメッセージをお願いします！



私は小学校の頃から体を動かすことが好きで、スポーツとかもやっていました。
体を動かすことが好きで、建築に興味のある人は、女の子であっても楽しく働けると思いますので、ぜひ建設業に入ってもらいたいです。

